

ほけんだより



2018年 10月号

野のはな保育園

「食欲の秋・運動の秋」の季節になりました。9月は夏のように暑い日が続き、突然のゲリラ豪雨など天気が急変する日もありました。これからの時期は、気温の変化に身体がついていくことが大変です。身体を休めて体調を整え、衣服の調節にも十分に気を配り元気に過ごしましょう。

10月保健予定

10/ 8(月)～ 身長・体重測定週間
10/17(水) 0歳児健康診断



感染症報告(9月)

アデノウイルス 1名



そろそろ空気が乾燥して、お肌もカサカサ… スキンケアを始めましょう



子どものお肌の状態は… 大人より敏感。とつても傷つきやすい。
だから、今の時期、お肌が痒い！と訴えてくる子が毎日います。
おうちでできること… まずは、お風呂できれいに洗います。やさしくふんわりと(ゴシゴシは×ですよ)
お風呂上りに、保湿クリームや保湿ローションを全身に塗りましょう。
塗る量の目安は、成人の人差し指の先端から1つ目の関節の長さまで0.5gです
(0.5gで顔全体が塗れる量)手のひらを使って優しく塗り広げましょう。

※ 赤みが出たり、痒み強い時 → 皮膚科を受診して、早めに塗り薬をもらって塗りましょう。

インフルエンザの予防接種 計画は立てていますか？



- ★園全体の接種率を上げることで、園内の流行を拡大を防ぐことができます。
- ★野のはな保育園の全職員も10月～11月始めに接種します。
- ★インフルエンザの流行する型は毎年変わります。ワクチンの有効期間は2週間～5ヶ月間ということもあり、毎年接種する必要があります。
- ★ワクチン接種から効果が表れるまでに2週間くらいかかると言われています。

→ 1回目…11月中
2回目…12月中旬まで } 4週間あけるのがベストと言われています。



視力は、生まれた瞬間から少しずつ発達し、3歳になる頃には大人に近い視力に達し、6歳頃までに完成します。視力にとって、6歳までの期間はとても大切です。

この時期に視力の発達が妨げられると、『弱視』になる可能性があります。

『弱視』は視力が完成する6歳までに治療しなければ、生涯にわたって改善することが難しいことが分かっています。

目の状態をチェックしてみましょう

下記に書かれている時期はあくまで参考です。発達には個人差があり、特に乳幼児はその差も大きいものです。

目の異常を見逃さないためにも日々の観察が大切です。確認はお子さんの機嫌のいい時に行ってみてください。

※ [はい]に○がある場合は、早めに眼科を受診しましょう。

3・4か月～

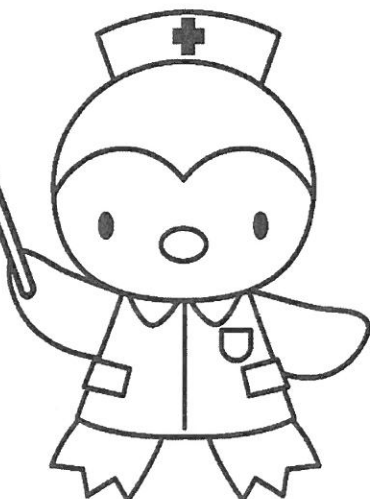
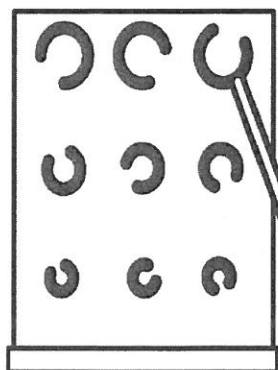
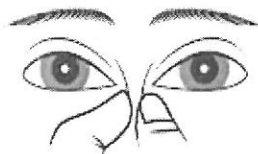
フラッシュをたいて正面の顔写真を撮ってみてください。

* ライトを当てても確認できます。

- フラッシュの反射が瞳のまん中に映るはずです (図①)
- 反射が内側に寄り過ぎたり (図②)
- 外側にずれたり (図③)
- 上側や下側にずれて (図④) いますか？



* 片目が内側に寄っているように見える時は、目と目の間をつまんで観察してください。



1歳～

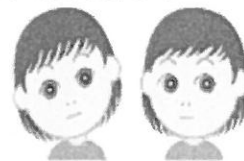
テレビや本に極端に近づいて見ますか？

はい・いいえ

片目をつぶったり、まぶしがったりすることがありますか？

はい・いいえ

頭を傾けたり、横目づかいでものを見ることがありますか？



はい・いいえ

2歳～

本など近くの物を見る時、目が内側に寄ることがありますか？

はい・いいえ

3歳～

3歳児健康診査を必ず受けましょう。

目を細めて物を見たりしませんか？

はい・いいえ

視線が合わず、どこを見ているか分からないことがありますか？

はい・いいえ